2026年10月26日

各　　位

会 社 名　株式会社　不 二 家
代表者名　代表取締役社長　河村　宣行
（コード番号 2211　東証プライム）
問合せ先　常務執行役員総務人事本部長　佐野　正樹
（TEL.　03－5978－8100）
当社の親会社　山崎製パン株式会社
代表者名　　代表取締役社長　飯島　延浩
（コード番号 2212　東証プライム）

2026年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年２月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2026年12月期通期連結業績予想値の修正

（単位：百万円、％）

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	１２５,０００	３,２００	３,６５０	２,１００	８１円４７銭
今回修正予想（Ｂ）	１２３,０００	１,６００	２,２００	８５０	３２円９８銭
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△２,０００	△１,６００	△１,４５０	△１,２５０	―
増　減　率（％）	△１．６	△５０．０	△３９．７	△５９．５	―
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	１１９,５５８	２,８４０	３,６０９	２,０３１	７８円８２銭

２．修正の理由

当社は、2026年７月28日に公表いたしました「2026年12月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」において、通期連結業績予想を変更しておりませんでした。理由といたしましては、飲料事業における想定を上回る６月以降の出荷量の増加及び夏場の需要期に向けた生産・供給体制の整備、洋菓子事業におけるお買い求めやすい価格帯商品の投入や新業態店舗の出店等による客数の回復、並びに菓子事業における第３四半期以降の順調な売上推移を見込んでいたことによります。

しかしながら、第３四半期連結会計期間（2026年７月１日～９月30日）においては、記録的な長雨や豪雨、熊本における震災等の影響と、それに伴う消費者の節約志向の一層の高まりにより買い控えが生じたことから、売上高は当初計画を下回りました。特に、洋菓子事業では高価格帯製品、菓子

事業では主力の大袋製品の売上が低調に推移し、７月時点で見込んでいた売上高及び収益の回復には至りませんでした。

利益面では、売上高が当初計画を約６％下回ったことに加え、中東情勢の影響等を背景とした包材価格及びエネルギー価格の上昇等のコスト負担が当初想定より上回ったことから、売上総利益が減少し、営業利益は当初計画を下回りました。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益の減少を主因として、当初計画を下回りました。

最需要期である第４四半期連結会計期間（2026 年 10 月１日～12 月 31 日）におきましても、食品値上げに対する消費者の節約志向の高まりが継続すると見込んでおり、売上高や利益への影響が生じる見通しです。こうした状況を踏まえ、2026 年２月 10 日に公表いたしました 2026 年 12 月期通期の連結業績予想を修正いたします。

今後は、洋菓子事業において新規設備を活用し、消費者ニーズに対応した製品の開発を進めるとともに、製菓事業においても消費者の用途に応じた製品を投入するなど、開発のスピードを一層高めてまいります。

以　　上